資料2

本市における幼児教育のさらなる推進

～遊びと学びをつなぐ～

令和５年５月２６日

岐阜市教育委員会事務局
幼児教育課

１．本市の幼児教育の取組

２．幼小連携が求められる背景

３．今後の幼小連携の取組

◆　論点整理

１．本市の幼児教育の取組

幼児教育推進プラン

市立幼稚園の実践

幼児教育課の取組

幼小連携の実情

１．本市の幼児教育の取組（幼児教育推進プラン）

岐阜市教育大綱

学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、
一人ひとりが価値ある大切な存在として
互いに認め合う教育を推進する

**夢や希望を持ち
自分らしく生きる未来へ**

岐阜市教育振興基本計画

希望あふれる未来を自ら拓く力を育む教育

【基本目標】

1　一人ひとりのよさが輝き、互いに認め合う心を育む教育
2　主体的かつ協働的な学びを通じて、未来への礎となる力を育てる教育
3　その子らしさを生かし、可能性を伸ばす教育
4　このまちと人から「生きる」を学び、社会参画する力を培う教育
5　子どもに深く向き合う、あたたかさと働きがいにあふれる学校・園づくり
6　新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備
7　子どもも大人も共に学び支え合う、家庭・地域の教育力の向上

中学校

小学校

岐阜市幼児教育推進プラン

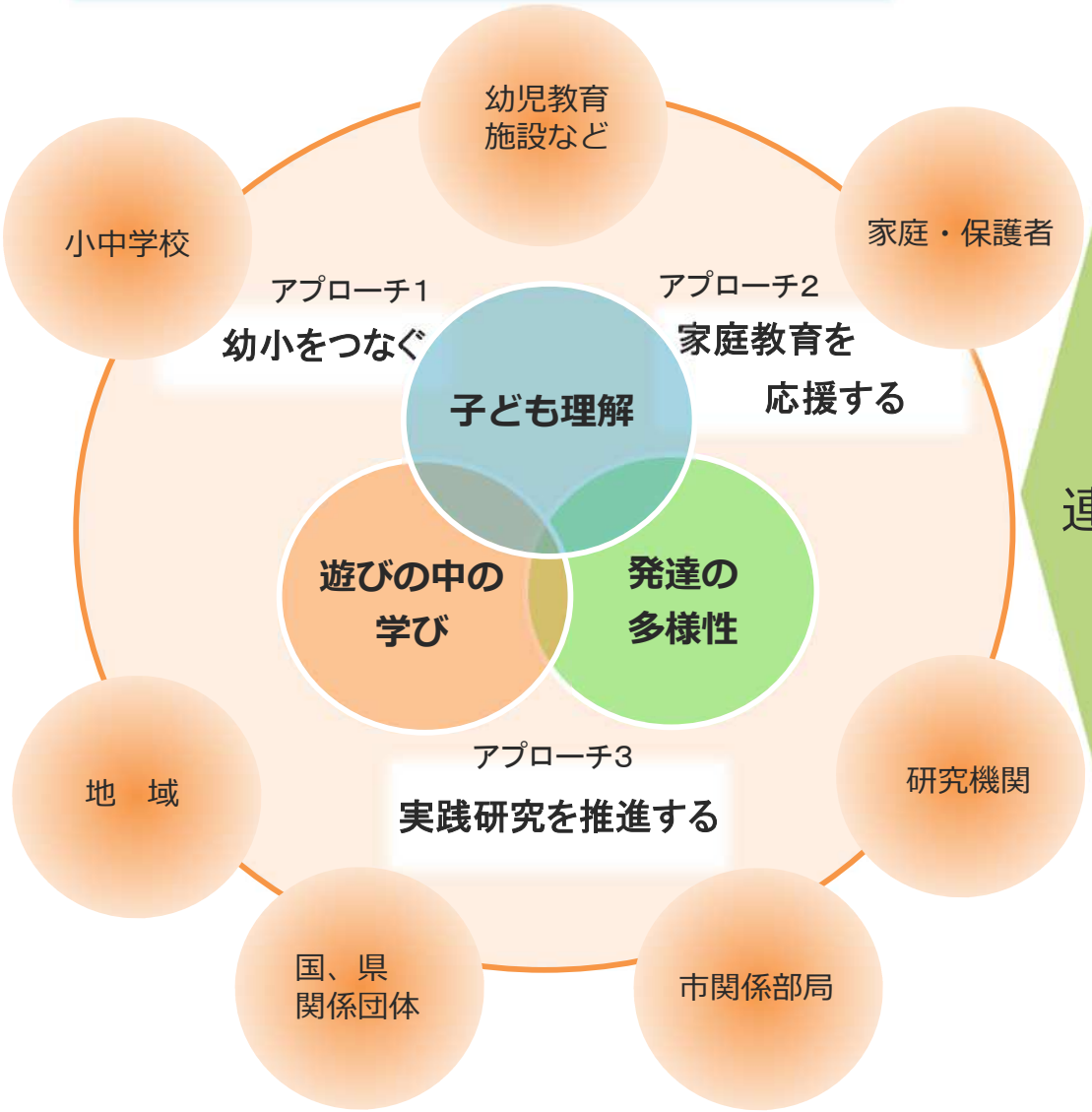
オール岐阜の幼児教育の推進

幼児期

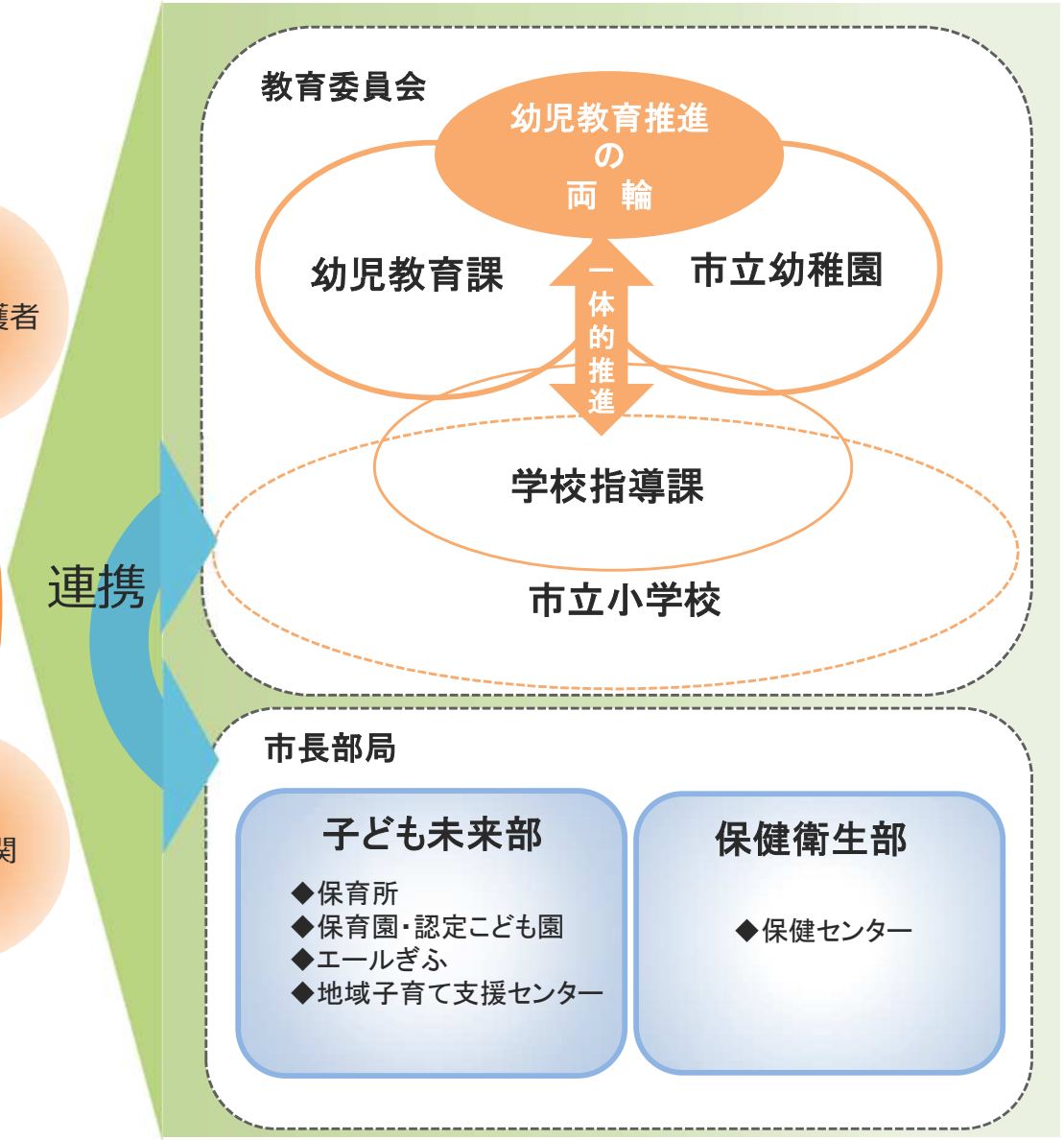
幼児教育からのアプローチ

岐阜市幼児教育推進プラン

オール岐阜の幼児教育の推進



推進体制



１．本市の幼児教育の取組（市立幼稚園の実践）

５領域

・健康
・人間関係
・環境
・言葉
・表現

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

・健康な心と体
・自立心
・協同性
・道徳性、規範意識の芽生え
・社会生活との関わり
・思考力の芽生え
・自然との関わり・生命尊重
・数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
・言葉による伝え合い
・豊かな感性と表現

探究心と創造力を育む教育

花びらを使った色水づくり・・・
花びらを手で揉むと、
きれいな色水ができるよ。

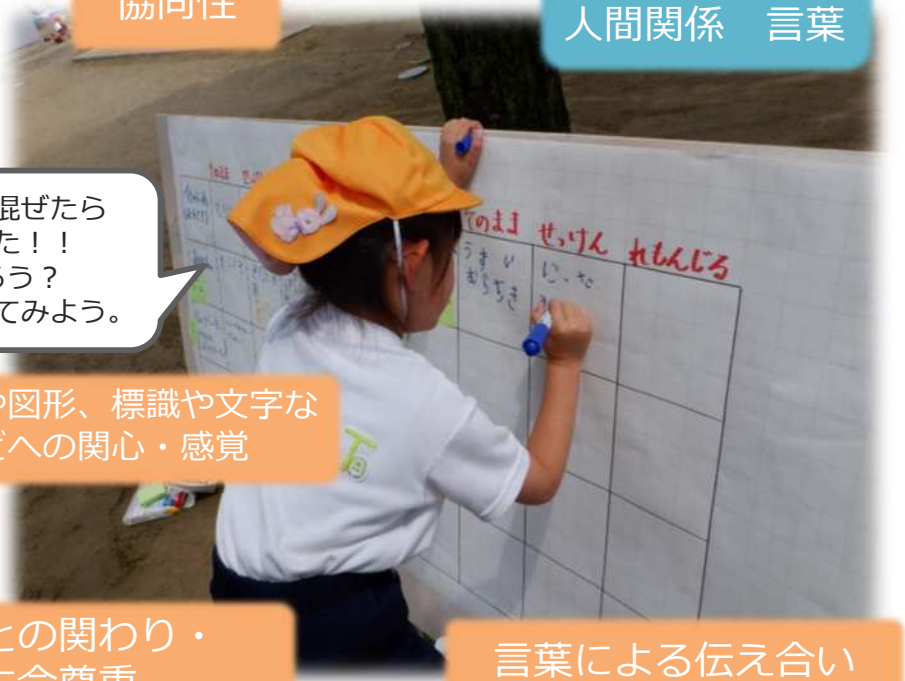
色水に石鹸を混ぜたら
色が変わった！！
なんでだろう？
書き出して比べてみよう。

思考力の芽生え

協同性

環境
人間関係　言葉

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



自然との関わり・
生命尊重

言葉による伝え合い

バグズ ミュージアム

Bugs Museum を つくりたい！！

岐阜東幼稚園

年長児たいよう組

大人にとっては、嫌な虫でも
この様子は神秘的過ぎて感動！！

カメムシの孵化（年中時）

（年長時）

すごーい！！
初めてみた！

レンゲ畑でテントウムシの幼虫発見！

飼育していたテントウムシの蛹化の様子を
教師が、見事タブレット撮影に成功！

知識と体験が重なる瞬間に大興奮！
意欲的に世話をしたり、観察して絵を描いたりする姿へ

とうとう、名和昆虫博物館に
行くことができました！！

名和昆虫博物館、カッコよすぎ！

自分たちの昆虫博物館（バグズ　ミュージアム）、つくりたい！

「クイズつくりたい」
「スタンプラリーもあったよ」
「もっと、きれいに（標本）しないと・・・」

自分たちで考えてやってみる！

「クイズの答え、どこに貼っておく？」
「字、読めない子はどうする？」
「絵も描いておく？」

「（標本）針で刺してあった」
「種類で分けた方がいいじゃない？」
「お土産もいるよ」

共通体験が
イメージの共有に

「モルフォチョウは青く光ってた」
「見るところで色が銀色に変わったよね？」
やってみたけど、うまくいかない・・・

カマキリのカマちゃんとの出会い

生き餌を食べる
カマキリは大迫力！
跳んでいるバッタを
捕まえて、
お腹からガブリ・・・

カマちゃんが一人ではさみしいからと
オスのカマキリを入れると・・・
「あ、おんぶしてる」

自然の摂理

しかし、その約2時間後には、
メスがオスのカマキリを頭から
食べてしまいました。
「入れなきゃよかった・・・」と半泣き・・・

自然がくれる命の意味

その後、なんと、メスのカマちゃんは
卵を産んだのです！！
半泣きだった子どもも、喜びました！

自然は優しくて、そして厳しい・・・

2回の産卵を経て、カマちゃんはある朝、死んでしまいました！
その姿に言葉にならず、涙がポロリ・・・

気持ちの相談

カマちゃんを、どうするのか相談しました。
「標本にしたい！」、「お墓にする」、「でも・・・Aちゃんは、どうしたいの？」
「針を刺すのは嫌・・・でも、ずっと一緒にいたい」
そんなAちゃんの気持ちを汲んで、木箱にそっと入れておくことにしました。

ICTの活用により、保育がこんなにも豊かになってきた！

タブレットのKeynoteを活用して、虫クイズや、紹介動画を製作！！

年少児や年中児を招待しました！！

こちらが
標本です！

カマちゃんの子ども達！
ミニチュアがいっぱい！
可愛い過ぎる！！

モルフォチョウ
で～す！

新種？
虹色チョウ！

市が目指す**幼児教育**の**モデル園**

日ごろから、
子どもの**好奇心**や**探究心**に
寄り添った取組を実施

岐阜東幼稚園

論文タイトル

「遊んで、遊んで、
とことん遊び込む！！」

遊びの中から生まれた**願い**を、
仲間とともに**試行錯誤**しながら実現し、
その喜びを**分かち合う**、という**繰り返し**の中で、
「**科学する心**」が**育まれていく**。

2022年度ソニー幼児教育支援プログラム保育実践論文

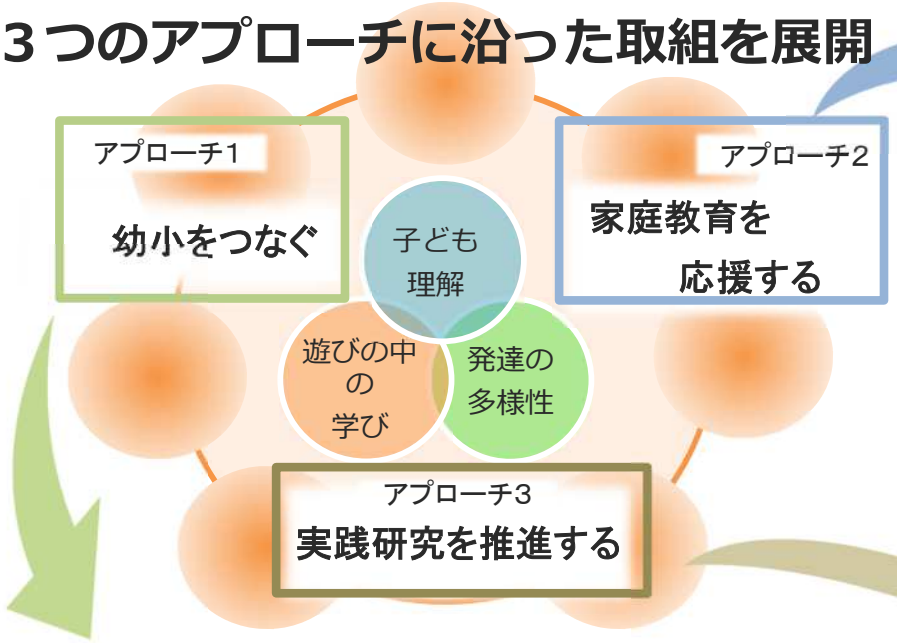
県内初 優秀園 を受賞

※乳幼児施設

賞状

１．本市の幼児教育の取組（幼児教育課の取組）

３つのアプローチに沿った取組を展開



家庭教育の応援　アプローチ２

幼児教育セミナー
有識者による講演会(年1～3回)
・会場、オンラインの同時開催

わくわく親子セミナー
親子遊びなど幼児教育啓発活動等(年3～６回)
・R5講師　市立幼稚園教諭

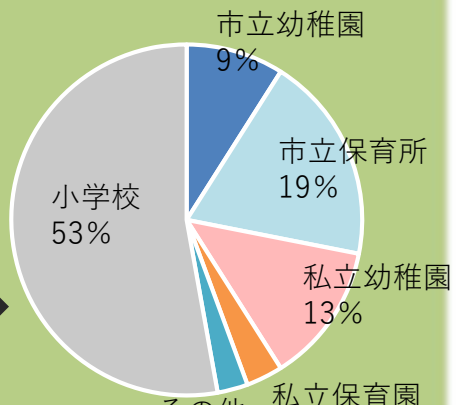
キンダーカウンセラー派遣
臨床心理士等を幼児教育施設に派遣
・保護者、職員の相談研修に対応

幼小をつなぐ　アプローチ１

幼小合同研修会

	R4研修テーマ
１回目	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をふまえた小学校教育
２回目	学校探検デザイン(ワークショップ)
３回目	学校探検デザイン(ワークショップ)

R４延べ出席者178名



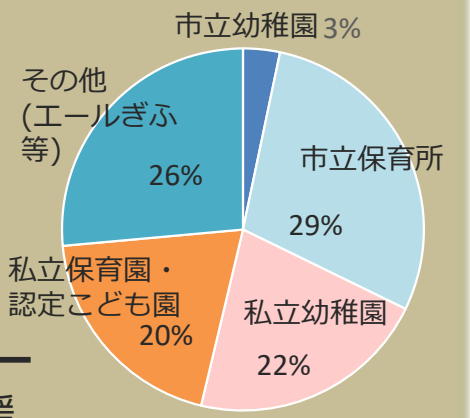
幼小接続実践研究会
幼小の保育・授業公開と交流

実践研究の推進　アプローチ３

ステップアップ研修

	R4研修テーマ
１回目	子どもへの接し方（若手研修）
２回目	特別支援教育
３回目	保護者対応

R４延べ出席者121名



幼児教育アドバイザー
巡回訪問による直接支援

幼小接続実践研究会　R4

１園１校　保育・授業公開

授業公開　　保育公開

幼稚園・保育園（所）・こども園
小学校から　７４人が参観

相互理解を深める

令和４年５月２４日
三里小学校　１年生

がっこうたんけん！
じぶんでいってみたいところをたんけんしよう！

幼児教育施設職員より

子ども自身の「したい」という思いや願いを原点として活動内容を考えてみえること、子どもたちと活動内容を決めていく姿がすばらしかったです。

同時にそのことが日頃の私たちの保育と同じであることが分かり、うれしく思いました。

「遊び好き」は「学び好き」！

講話

愛知教育大学
教授
加納誠司先生

交流会

令和５年１月３０日
加納幼稚園

遊んで遊んで
とことん遊び込む！

小学校 職員より

やりたいことをとことんやりきることで、子どもたちがいろいろな力を獲得していくことの素晴らしさを目の当たりにしました。

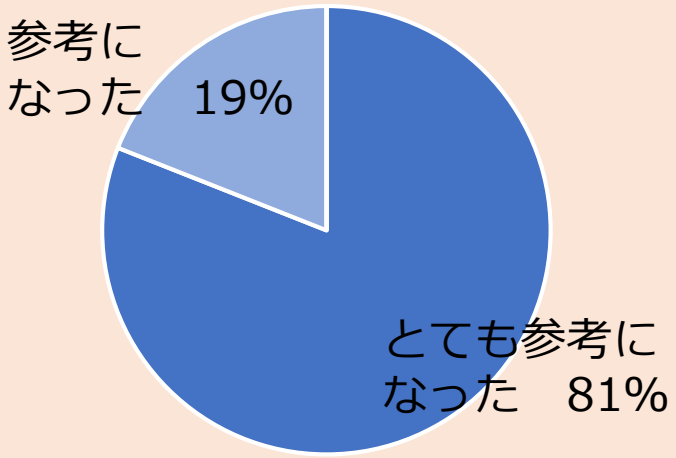
こうやって育ってきた子どもの力を信じて、小学校でもあわてず、じっくりと進めていくことも大切だと感じました。

幼小接続実践研究会　R4

令和４年５月２４日　三里小学校　授業公開

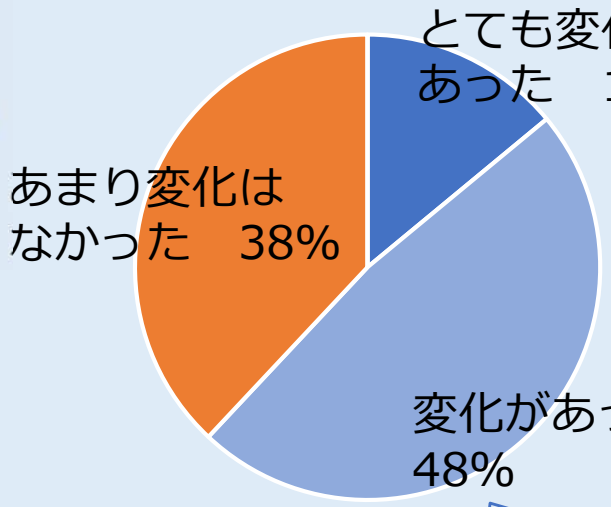
研究会直後のアンケート

これからの保育・教育における指導の参考になりましたか。



２か月後の追跡アンケート

ご自身の保育・教育に対する意識に変化はありましたか。



幼小の公開参観機会の増加

▼

R5
6園
5校
公開参観

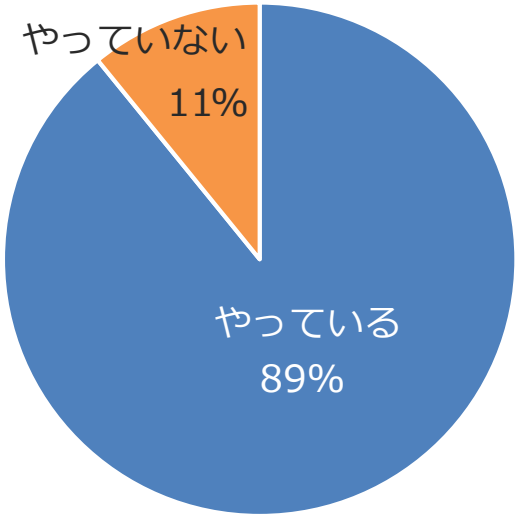
意識の変化 から
指導の変化 へ

「この子にはどんな言葉がけをすると、考える姿につながるか考えるようになった」
「自分のことは自分でできるように働きかけている」
「子どもが自分で考えて、行動していくように声をかけるようになった」
「幼くても、自分たちで話し合う活動を取り入れようと思った」

幼小の交流不足

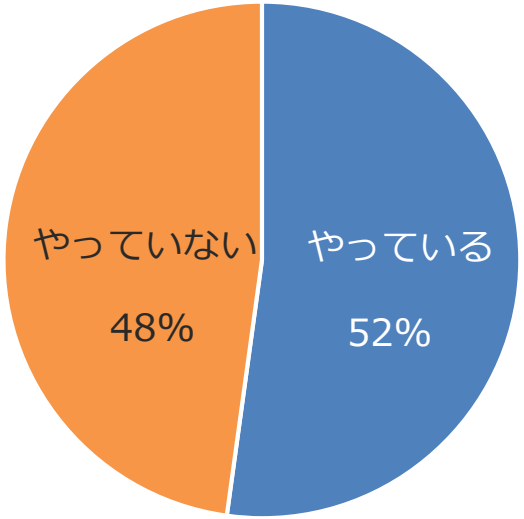
「特色ある幼小連携事業について　令和４年度の取り組み」アンケートより
令和４年度　幼児教育課実施（市内小学校対象）

学級編成のための引継ぎ



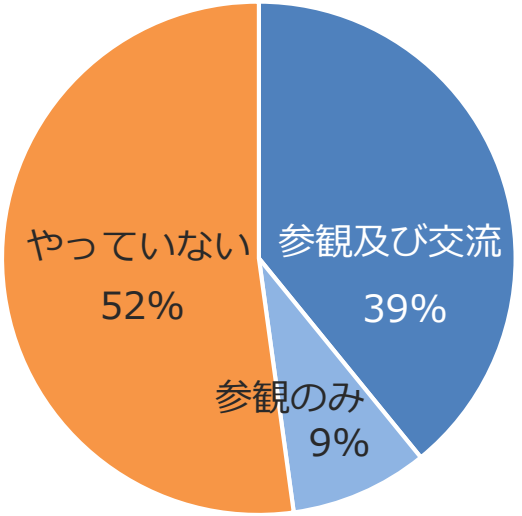
１年生の学級編成のための
参観や情報交流
↓
ほとんどの学校で実施

子ども同士の交流



子ども同士の交流事業や
それに伴う打ち合わせ等
↓
やっていない学校が半数程度

保育・授業参観及び交流



保育・授業公開とともに、
職員同士が教育について交流
↓
やっていない学校が半数以上

幼小の職員の目線のずれ

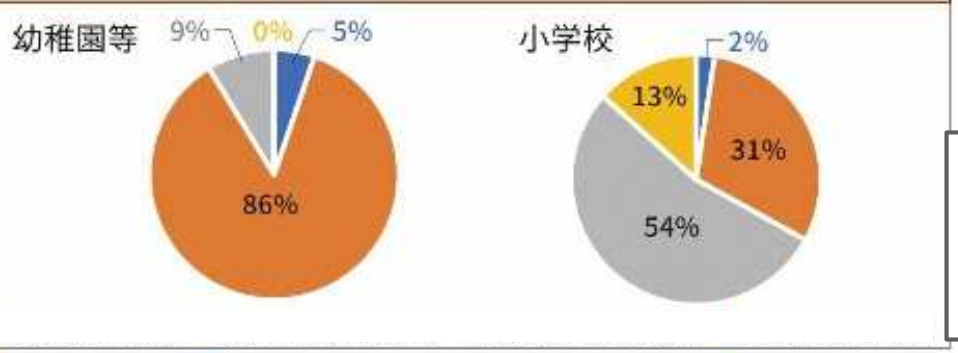
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての調査結果

令和３年度「幼稚園及び小学校課程研究協議会」参加者アンケート調査より

（幼稚園教諭等約114名、小学校教諭等約1,100名）

「『ぎふっこ』すこやかプラン」より転載（編集発行：岐阜県教育委員会事務局学校支援課）

Q１　「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」等に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解していますか。



Q３　「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から見たとき、次の１０の姿について、どのように感じていますか。当てはまるものを１つ選択してください。

■幼稚園教諭等：令和２年度に自園を卒園した年長児（５歳児）の１～３月頃の姿を見て

■小学校教諭等：令和３年度に自校に入学した１年生の児童の４～７月頃の姿を見て

２．幼小連携が求められる背景

背景１　教育の連続性

背景２　幼小の教育課程等の違い

背景３　多種多様な幼児教育施設

架け橋期の教育

幼から高までの教育の連続性が求められている

幼児教育施設	小学校	中学・高校
乳幼児期	学童期	青年期

遊びを通して一体的に

指導のねらい・内容
（５領域）
「健康」「人間関係」
「環境」「言葉」「表現」

育みたい資質・能力

◆知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、
分かったり、できるようになったりする

◆思考力、判断力、表現力等の基礎

気付いたこと、できるようになったことを使い、
考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

◆学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、
よりよい生活を営もうとする

<共通>
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

各教科等の指導を通して

主体的・対話的で
深い学び

育みたい資質・能力

◆知識及び技能

何を理解しているか、何ができるか

◆思考力、判断力、表現力等

理解していることをどう使うか

◆学びに向かう力、人間性等

どのように社会や世界と関わり、
よりよい人生を送るか

<共通>
小学校、中学校、高等学校学習指導要領

幼小の教育課程には大きな違いがある

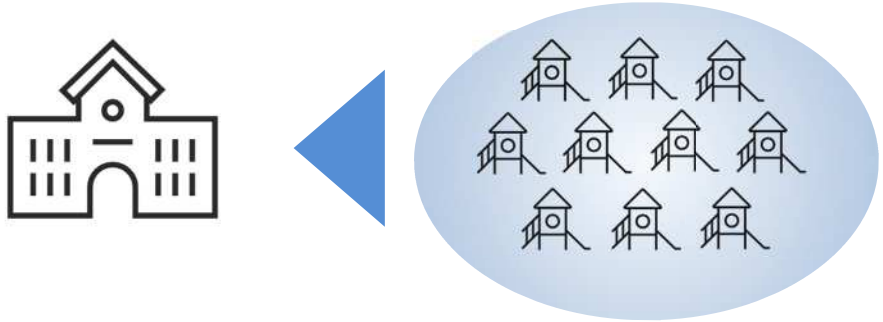
	幼児教育施設	小学校
教育課程の構成原理	**【学びの芽生え】** **遊びを通して** ・指導のねらい、内容として５領域が示されるのみ →10の姿は到達すべき目標ではない 体験や実物をもとに 五感を通して	**【自覚的な学び】** **各教科等の学習を通して** ・各教科等において学習する内容、年間授業時数は決まっている →年間で達成すべき目標がある 教科書をもとに 言語を通して
日課の形態	**ワークエンド** 活動が終わるまで →終わりは個人差が大きい	**タイムエンド** 通常時間４５分間 →終わりは一斉
活動の特性	**マイペースで** 自分の時間 →達成感、自己肯定感重視	**限りある時間内に** 一斉授業 身に付けるべきことは決まっている →効率的、平均的重視
指導観	**１人ひとりの成長** →個人に着目	**学級みんなの成長** →学級集団に着目

ギャップ

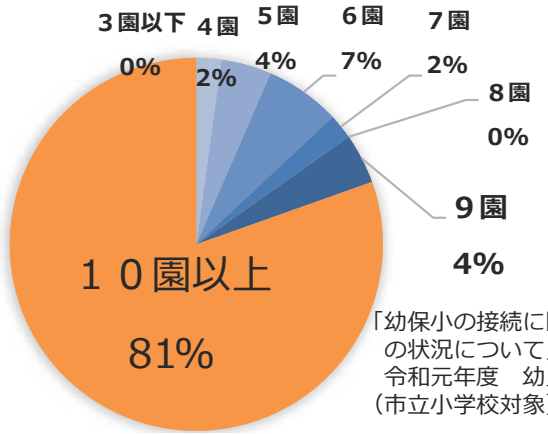
リセット！

多様な施設から子どもたちが入学

◆小学校1校当たり　１０園以上の施設から入学



市立小学校が受け入れた幼児教育施設等の数



「幼保小の接続に関する市立小学校の状況について」より
令和元年度　幼児教育課実施
（市立小学校対象）

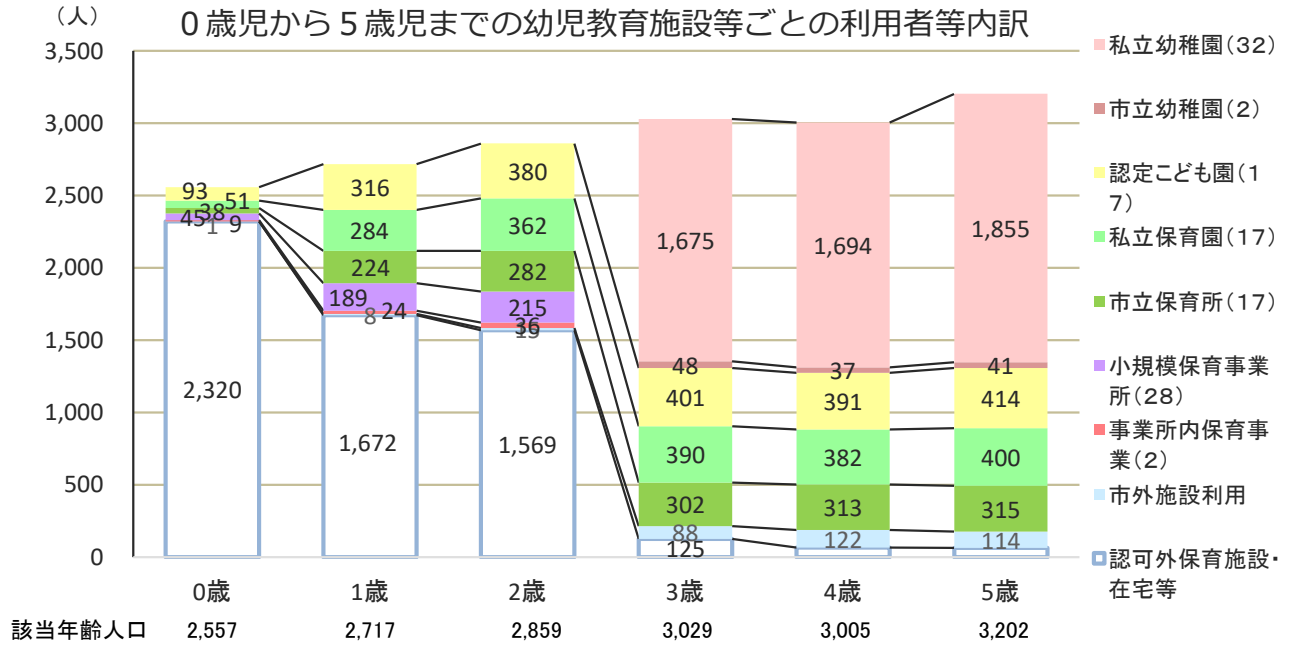
◆多様化

・認定こども園化
・公立から私立へ

◆特色ある教育・保育活動

・創設の理念
・教育観・指導観
・経営方針
・他との差別化
・環境、地域の特色　等

０歳児から５歳児までの幼児教育施設等ごとの利用者等内訳



幼稚園・保育所・保育園・認定子ども園・市外施設利用者は、R4.4.1時点(子ども未来部）、該当年齢人口はR4.4.1時点（市統計）のもの。認可外施設・在宅等は、該当年齢人口から各施設利用者を差し引いて推計したもの。

架け橋期の教育の充実

架け橋期：幼児教育施設の年長（５歳児）から小学１年生の２年間

４歳児 | ５歳児 | 小学１年 | 小学２年

小１プロブレム

幼小が意識的に協働して，子どもの発達や学びをつなぐこと

架け橋プログラム

幼児教育施設

小学校教育を見通して「主体的・対話的で深い学び」等に向けた資質・能力を育む。

小学校

幼児教育施設で育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施する。

架け橋期のカリキュラム

学びの芽生え

アプローチ・カリキュラム → スタート・カリキュラム

自覚的な学び

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（１０の姿）」等を手掛かりに、
架け橋期のカリキュラムの作成・評価の工夫により幼小の教育を充実

生涯にわたる学びや生活の基盤をつくること

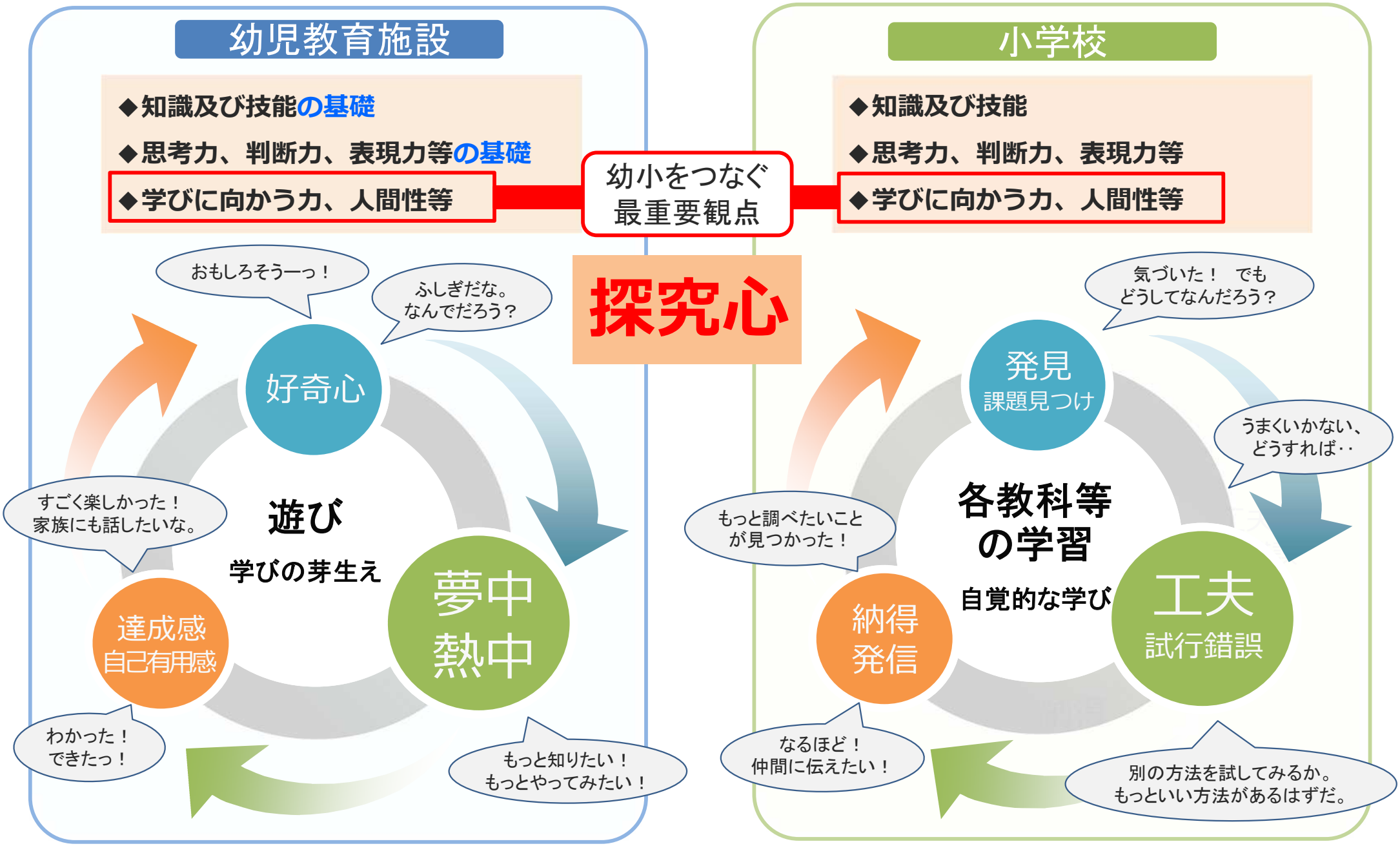
３．今後の幼小連携の取組

取組の観点

今後の展開

幼小連携推進事業

３．今後の幼小連携の取組（取組の観点）



架け橋期を意識したカリキュラム・デザイン

★「探究心」で貫かれたカリキュラム構想
★地域ごとの幼小連携体制の充実
★岐阜市版接続カリキュラムの周知および改訂

講話・セミナー等を通した家庭教育の支援

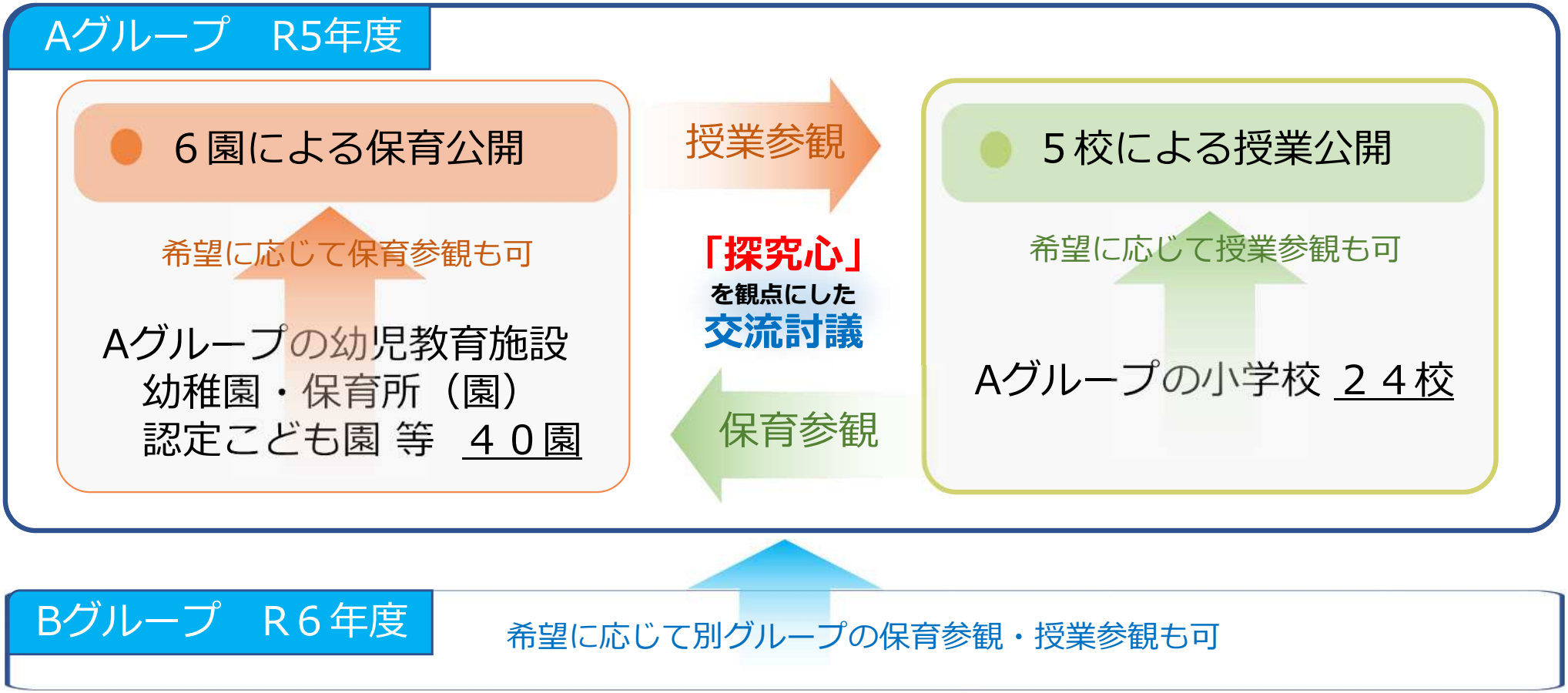
	step 1	step 2	step 3
教委	参観・交流の機会設定	交流を深めるための体制作り	円滑な接続の実践事例紹介
園校	実態把握 相互理解	共通理解 共通歩調	カリキュラムに反映
	幼小の顔の見える交流	めざす子ども像 育みたい資質・能力の共有	接続を意識した実践
	研修事業の展開		さらなる連携強化

学びに向かう力 「探究心」 でつなぐ幼小の連携

幼小連携推進事業

幼小接続実践研究会R4（１園１校公開）の発展事業

R5とR6の２年で
全ての幼児教育施設・小学校に，保育参観・授業参観の機会を設定する



★各園校の事情や希望に応じた自由度の高い参観の仕組み

◆　論点整理

本日は、主に**以下の事項**について、**ご協議**いただきたい

・**本市の幼児教育の更なる充実**

・**幼小連携の推進**　　に必要な視点・取組について

参考資料

家庭教育の応援　家庭教育は全ての教育の出発点

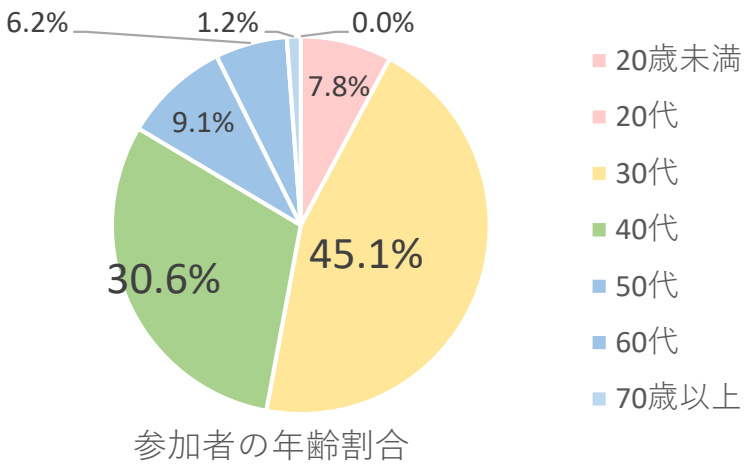
幼児教育セミナー

有識者による講演会
・会場、オンラインの同時開催
・年に１～３回開催

わくわく親子セミナー

親子遊びなど幼児教育啓発活動等
・R5講師　市立幼稚園教諭
・年に３～6回開催

令和元年度～４年度のべ参加者人数　**2,102名**



参加者の年齢割合

うち　30代、40代　　**７５％**以上
　　20代、20代未満　**１０％**未満

令和元年度～4年度参加者アンケートより

令和元年度
幼児教育セミナー開始

令和3年度
わくわく親子セミナー開始

令和4年度
・幼児教育セミナー会場、オンライン ハイブリッド開催開始
・市公式SNSによる広報開始

◆課題
参加者が少ない（特に20代、20代未満の保護者等）

◆想定される要因
・周知不足
・時間がない、合わない
・興味が持てない

◆解決策
・広報の充実
・動画の充実
・親子で楽しく参加できる機会を、増やす

◆令和５年度の取組

・広報の充実
　市内大型公園に周知ポスターを掲載
　ラジオによる広報

・幼児教育セミナーの動画の充実
　従来版（90分）、概要版（10分）を市公式Youtubeで公開

・わくわく親子セミナーの増加
　年３回→６回に増加し、市内各地区で実施

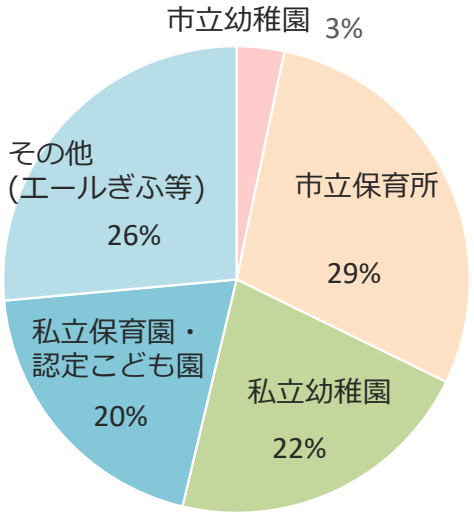
実践研究の推進　教育・保育の質の向上

ステップアップ研修

テーマ別の研修を開催（対面、オンライン）

職員の資質能力の向上を図る機会を提供

令和４年度のべ参加者人数　**１２１名**



【参加者の声】

「保育者としてどうあるべきか考える時間になりました」

「実際に役立つ事が多かったので、実践してみます」

「若年層の職員の精神的な負担を減らすためにも園として体制を整える必要性を感じた」

幼児教育施設に占める各施設の割合

- 市立幼稚園　2%
- 市立保育所　21%
- 私立幼稚園　39%
- 私立保育園・子ども園　38%

令和4年度参加者アンケートより

令和3年度

ステップアップ研修開始
　１回開催　オンラインのみ

令和4年度

ステップアップ研修
　３回開催　テーマ別
　対面・オンラインのハイブリット

◆課題

・私立施設の参加者が少ない

◆想定される要因

・研修日と予定が合わない
・テーマがニーズに合っていない

◆解決策

・研修機会の増加
・現場の実態を捉えたテーマの設定

◆令和５年度の取組

・必要感の高いテーマ設定

	テーマ	講師
1	保護者との適切な関係づくり	大学教員
2	幼児教育の基本（若手職員向け）	本課職員
3	特別支援教育における幼児教育	エールぎふ職員
4	幼児の運動能力について	大学教員

・年３回→４回に増加
・オンライン配信の継続

コロナ禍で幼児の体力減、運動能力低下の指摘